

2012.01.17

概要:

2チャンネル・スペアナの特長である2項目同時測定の制御方法を紹介します。また、単独チャンネルで測定した場合と測定時間の比較もできます。
その他、CH1, CH2の制御サンプルがあり、設定モードにより画面が変化する様子が分かります。

測定項目:

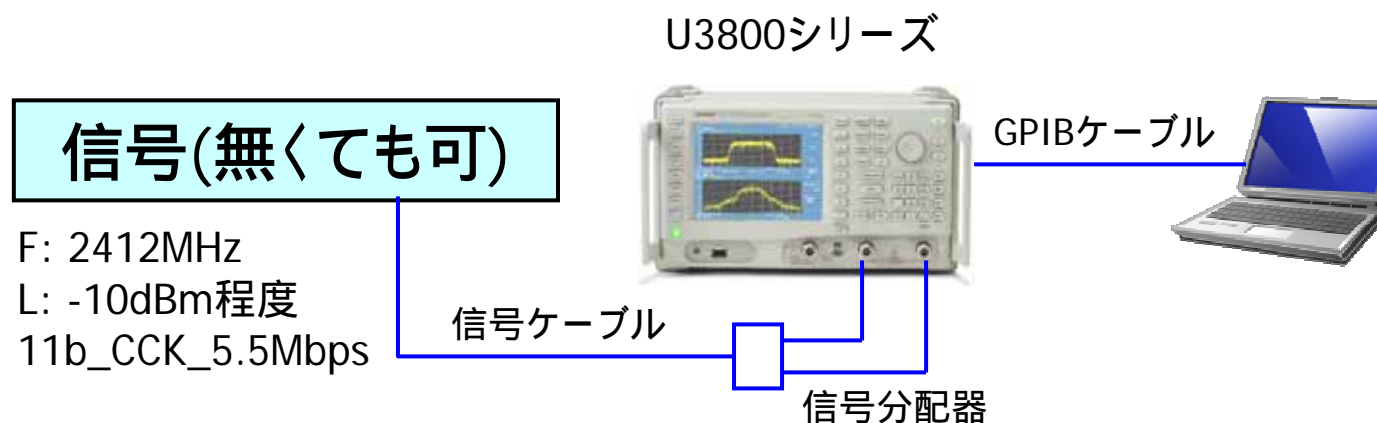
Telecの高度化小電力データ通信システム(WLAN)
測定を参照にしています。(用途により修正して下さい)

測定方法:

周波数と掃引時間の指定を行う。掃引時間はバースト信号のため、1secの初期設定としています。
(アナログ・スペアナ・モードの測定)

2. U3800 LAN_1ch2ch 接続概要図

ADVANTEST®



1. 信号源(WLAN:11b_CCK_5.5Mbps)を接続します。
(信号が無くてもソフトウェアは動作します)
2. 複数項目組合せ測定(モード)と単独項目測定で
測定時間が比較できます。
(チャンネルパワーの高確度、高安定性も確認)
3. CH1,CH2の測定(画面)モードを確認できます。

3. 測定順序とパネルイメージ

ADVANTEST®

1. サンプル・ソフトの起動

2. GPIBアドレスの確認(8)

3. 測定

U3800 GPIB CH1CH2 Power Ver. 1.0

Measurement (1) ☐ AVG ON **Measurement (2)** **CH1 + CH2**

Total Power OBW (99%) Frequency AVG Power (1M) Meas (1) ALL

Spurious (CH1) OBW (90%) sec OBW (99%) Meas(2) ALL

CHP Frequency Ref. Level Sweep Time Freq + AVG

ACP 2412 MHz 20 dBm 1000 m sec EXIT Spuri+Pow+AVG

Select SPA

Preset ☒ U3841/51 ☐ U3872

SPLIT Full CH1 Dual ON SCRF ON

Overlay Full CH2 Dual OFF SCRF OFF

4. 測定方法と主要キーの説明

起動と測定:

1. アプリソフトの実行(スタートより U3800 GPIB_CH1CH2 を選択し実行)
2. スペアナのGPIB Addressを8番にします。(デフォルトは8番)
3. 必要によりスペアナの初期設定を行います。(U3841/51,U3872を選択)
4. Meas (1) ALLで一括測定、または個別項目キーで測定をします。
5. それぞれの測定時間が確認できます。
6. 測定時間はスペアナ等の状態で少し違いますので何回か行います。
7. 終了は EXIT を押します。

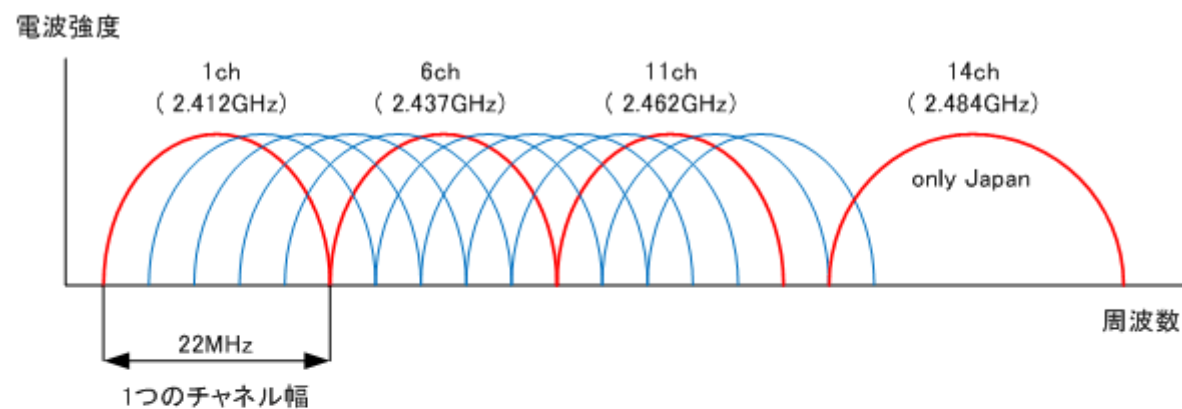
その他のキー:

- a. SPAへの設定データは必要なチャンネルに適用されます。
- b. Presetキーは機種を選択してから実行して下さい。(押します)
その他、SPLIT, Overlayなどのキーはスペアナ画面のモードが確認できます。
- c. AVGは10回平均測定のON/OFFです。(ただし、個別項目だけ動作します)
ONにして測定します。測定終了後は自動的にOFFになります。

ADVANTEST®

参考2: WLANの周波数構成 (b, g)

IEEE802.11bのチャンネル配置



IEEE802.11gのチャンネル配置

